

マルチン・デ・ポレス

No. 70
2022年 1月

発行人: 志田原 俊城 発行所: 聖マルチン病院 坂出市谷町1-4-13 (0877)46-5195
ホームページ <http://sakaide-martinhp.jp/>

新年あけましておめでとうございます。

このたび2021年(令和3年)11月1日付けで立本昭彦前院長の後任として聖マルチン病院の院長を拝命いたしました志田原俊城です。

聖マルチン病院はキリスト教の精神に基づき、愛と誠実をもって病者の治療、看護・介護を行い、医療と地域社会の福祉に寄与する目的で、聖ドミニコ宣教修道女会によって昭和24年に開設されました。以来約70年、やさしさを重視した「心」の医療をもって坂出市を中心に、皆様の健康を守ってまいりました。

2017年6月1日からは、広く地域住民の方々にやさしく質の高い診療を提供すべく新病院に生まれ変わり、従来以上に充実した医療を行うことで、皆様方のご信頼を得よう努力しております。

新病院は、最新のCT、MRI等の設備はもちろん、最新の耐震防火機能を備えた7階、196床ですが、特筆すべきことは県下でも3番目である緩和ケア病棟を新設したことで、癌終末期の患者様を受け入れることが可能となったことです。

また、診療内容の充実もはかり、緩和ケア外科、緩和ケア内科、皮膚科の開設や、がんリハビリテーションも含めた退院支援を目的としリハビリテーション部門を強化いたしました。

さらに人材面では神経内科、整形外科の増員などにより専門性の高い治療を行える体制を確立いたしました。

以上のように、SoftとHard両面の充実により、これまでの「検診を含めた予防医学」や「癌や生活習慣病の専門的治療」また「かかりつけ医としての機能」だけでなく、「癌終末期の患者様の身体と心のケア」を行うことが可能となり、文字通り途切れのない治療を行うことが出来るようになりました。

そして、高齢化社会の到来に応じ、今までのように病院内の医療だけでは不十分で、退院後の生活や心のケアまで考慮した医療が求められる時代となりました。

そのため、現在稼働している療養病棟だけでなく、今後は介護・在宅支援の体制も充実させていく予定です。

医療を取り巻く環境は、保健医療制度も含め、今後益々厳しくなり、社会からは高度の医療を求められ、健全な病院運営を行うには、非常に困難な状況となってまいりましたが、医師、看護師、コメディカル、事務職員が一丸となって時代の要請や変化に適応し、患者様を中心とした安心で満足していただける医療の提供をするため、一層の努力をしていく所存です。

また、現時点では新型コロナウイルス感染は香川県においては小康状態となっております。しかし、これから空気が乾燥する冬季にデルタ株のような新たな変異ウィルスの流行が発生すれば、第6波の新型コロナウイルス感染症の大流行も懸念されるため、患者様およびご家族様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、入院中の患者様をお守りするため、今しばらく面会制限を継続させていただく予定です。

3回目のワクチン接種が順調に進みウィルス感染の重症化予防薬が実臨床で使用できるようになれば、コロナウィルス禍以前の状態にもどることができるのではないかと期待しております。

今しばらく皆様にご協力をお願い申し上げます。

今後も地域の健康を支え、地域の方々に支えられながら病院運営をしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2022年1月吉日
聖マルチン病院院長 志田原 俊城

病院の理念

私たちはキリスト教の愛にもとづいて生命の尊重、人格の尊厳と平等、病める人々の権利を守る医療を行い、心身の救いを目指します。

私たちは医療にかかわる者としての使命を深く認識し、人格の向上、相互愛、専門職の研究向上に励み、地域医療に役立つよう努力いたします。

聖マルチン・デ・ポレスは、

16世紀に南米ペルーに生まれ、

多くの病人やけが人をやさしく看病した

聖マルチン病院の保護者です。

基本方針

- ・ 良質で愛のある医療
- ・ 安全と信頼の医療
- ・ 地域に密着した医療
- ・ 質の高い高齢者医療とケア

「マルチン・デ・ポレス」は地域の皆様へ病院からの案内をご紹介します。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

～ 健康診断でよくみかける血液検査項目 ～ 「HDLコレステロール」と「LDLコレステロール」について知ろう！

1. コレステロールとは、脂肪成分の一つ

コレステロールは人間の体内に存在している脂肪成分の一つで、人間の全身を作っている細胞の膜の構成成分の一つです。そのほか、ステロイドホルモンやビタミンD、胆汁酸などを作る成分にもなっていて、とても重要な物質です。



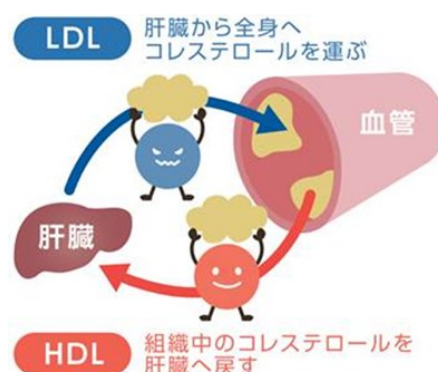
血液中の脂質
(中性脂肪やコレステロール)
↓
脂質には体を作る細胞膜や、
体の調子を整えるホルモンを作る

2. 善玉コレステロールと悪玉コレステロール

コレステロールは血液中に流れるためにリポ蛋白という粒子に変化します。そのリポ蛋白にはいくつかの種類があり、特に重要なのがHDLコレステロール(高比重リポタンパク質)とLDLコレステロール(低比重リポタンパク質)です。

LDLは肝臓でつくられたコレステロールを全身に運びます。体にコレステロールをためる働きがあるので悪玉コレステロールと呼ばれています。LDLが増えすぎると動脈硬化の原因となります。動脈硬化とは動脈に脂肪などが蓄積し血管が厚く硬くなってしまうことです。心筋梗塞や狭心症、脳梗塞などを引き起こします。また、女性では更年期を機に増加することがあります。

HDLは蓄積したコレステロールを回収する働きがあり、善玉コレステロールと呼ばれています。脂質・糖質の多い食事や喫煙・運動不足・肥満で低下します。



3. LDL/HDL比とは

LDL/HDL比とは「LDLコレステロール」÷「HDLコレステロール」で示される数値のことです。この数字が大きいほど動脈硬化のリスクが高いということになります。例えば、LDLコレステロール値が135mg/dl、HDLコレステロール値が45mg/dlの場合、どちらも正常範囲内ですが、LDL/HDL比は135÷45=3.0となり注意が必要な数値です。

健康の目安となるLH比

$$\text{LH比} = \frac{\text{悪玉(LDL)コレステロール値}}{\text{善玉(HDL)コレステロール値}}$$

(LH比)2.0以上

注意

(LH比)1.5未満

健康

少ない 善玉(HDL)コレステロール値 多い

LH比とは善玉(HDL)コレステロール値と悪玉(LDL)コレステロール値の比率のことです。数値が高くなると注意が必要です。参考：「薬事日報」2014年12月17日

4. おわりに

健康診断などで自分のコレステロール値を把握しましょう。コレステロールが高いと言われたら医師の指導のもとで対策と改善を行ってください。

～ 聖マルチン病院 訪問介護のご紹介 ～

坂出聖マルチン病院訪問介護は、登録ヘルパー含め12名のスタッフで業務を行っております。皆様がご自宅で継続した自立生活が送れるよう、その一助となるべく日々業務にあたっており、現在約130名の方にご利用いただいております。

また、SDGs「⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に賛同し電気自動車も1台導入し訪問車5台(電動機付き自転車も活用しております)となり益々活動の範囲を広げています。

Q, いったいヘルパーさんってどんなことをしてくれるん？

A, 高齢者の方の一人ではできない家事(掃除・洗濯・調理・買い物)のお手伝いや、入浴、排泄、着替え、食事のサポート等をしています。決してお手伝いさんではない、介護のプロの視点でご利用者様が最後までご自宅で生活したいという願いに寄り添いながら、よりよい方法を一緒に考え、その方らしい自立した生活が送れるようお手伝いをしています。

Q, 時間は何時から何時まで対応してくれるん？

A, 基本は8:00～17:00ですが、ご要望に応じて対応いたします。

Q, どこまで来てくれるん？

A, 坂出市、宇多津町ならどこへでも参ります。(島しょ部は難しいですが…) えんじ色の上着に紺のズボンを履いているのがヘルパーです。いつでもお気軽に声をお掛け下さい。また、試しにご利用して頂いても構いません。興味をもった方は担当ケアマネージャーさんに一度相談してみてください。

私たちのモットーは「元気いっぱいのヘルパーがいつも全力でお伺いします」です。利用者様の気持ちに寄り添って、私たちができることを誠心誠意尽くしていきたいと思っています。

今後とも『聖マルチン病院 訪問介護』をよろしくお願い致します。



↑ 電気自動車



～ 院内行事の様子 ～



2021年11月5日(金) 6日(土)

日本のカトリック病院が集う、日本カトリック医療施設協会全国大会がありました。
当院は今回オンラインでの参加となりました。

今月の一言

祈りは、人間が生み出しうる
もっとも強力なエネルギーである。
それは、地球の引力と同じ現実的な力である。

アレクシス・カレル

医療相談窓口

医療の安全と信頼、サービス向上を図るために、
患者様・ご家族様の相談窓口を設けています。

～設置場所～

病院1F 総合案内「患者相談窓口」

対応時間 月・火・木・金曜日 8:00～17:00

水・土曜日 8:00～12:00

アクセスマップ 駐車場案内



AccessMap (アクセスマップ)

